

第27期第6回世田谷区社会教育委員の会議 議事録（要旨）

【1】開催日時 平成29年5月31日（水）18時30分～20時00分

【2】開催場所 世田谷区役所第2庁舎3階 教育委員会室

【3】出席委員 萩原委員（議長）、神保委員、箕輪委員、上原委員、権田委員、宮田委員
湯澤委員

【4】出席職員 教育委員会事務局
花房生涯学習部長
土屋生涯学習・地域学校連携課長
大井社会教育係長、御園生社会教育担当係長
佐山団体支援担当係長、島田社会教育係主任主事

【5】傍聴人 なし

【6】資料

- 会議資料1 第27期世田谷区社会教育委員名簿
- 会議資料2 第27期第5回世田谷区社会教育委員の会議議事録（要旨）
- 会議資料3-1 平成29年度社会教育関係団体に対する補助金交付一覧（案）
- 会議資料3-2 世田谷区社会教育関係団体に対する補助金交付要綱
- 会議資料3-3 世田谷区立学校PTA連合体補助金交付要綱
- 会議資料4-1 前期会議の意見抜粋・子どもの貧困想定概念図
- 会議資料4-2 世田谷区における生活困窮家庭に役立つ事業一覧
- 会議資料4-3 第27期社会教育委員の会議第4回事例報告レジュメ
- 会議資料4-4 第27期社会教育委員の会議活動スケジュール案
- 参考資料 他自治体の取り組み（足立区、板橋区、大田区）
- 参考資料 第20回アドベンチャーin多摩川いかだ下り大会

【7】委員の委嘱

薄井委員に代わり、片山委員が委嘱された。

【8】前回議事録（要旨）の承認

異議なく承認された。議事録（要旨）の署名人は、宮田委員と湯澤委員。

第6回定例会の議事録（要旨）の署名人は、議長が神保委員と箕輪委員を指名。

【9】議事要旨

1. 世田谷区社会教育関係団体に対する補助金交付について

区立幼稚園及び区立小中学校PTA連合協議会等の団体と、その他の社会教育関係団体への補助金の交付決定について、委員へ諮り、承認を得た。

2. 課題抽出・整理と方策について

前回までの会議の振り返りと、課題の抽出や整理、方策について意見交換を行った。

（意見交換）

（委員）児童館は子どもが遊びに来る場所、子ども食堂も食を通じてつながる場、子どもたちの参加のハードルをさげていることに意味がある。また、同時に、地域の大人が子どもたちに関わるハードルをさげることも必要。町会会館を利用して、PTAのOBが中心になって、自習スペースを週2回開催している事例がある。地域で、昔教員をしていたという方や、学生でボランティアとして関わりたいという方等、このくらいだったら私でもできるかなというようなきっかけになる活動も大事。町会会館の利用や、PTAのOBといったこの地域でもある条件でうまく機能できるといい。

（議長）子ども食堂が全国的にひろがったのは、私でもできるかなと思わせるところもある。自習スペースをおくことで見守る、教える等様々なスタンスで関われる。

（委員）子どもは自分のおかれている環境が人と違っているとはわからず、それが当たり前の中で育っている。子どもに対していい環境を与えながら地域で見守れる見本をつくることが大事。

学校を主体に考えてみると、学校支援地域本部がたちあがり、地域がどんどん関わってくるようになった。コーディネーターが地域と学校とのパイプ役として地域の方の応援を頼む等、今まで個々にやっていたことをコーディネーターがまとめて行うという仕組みをつくっている。ただ公立の小中でない子もいるので、地域が関わっていないと見落としてしまう。貧困は目にみえない。もっと小さいときにかかわれる方策が必要。

（委員）世田谷区では、小さなお子さんがいる家庭に対して、ネウボラ等、様々な支援を行っていると思う。ただ、どの支援もその方が求めないとつながらず、そこが難しい。本当に支援が必要な人は、自分では求めない場合も多い。そういった人の発見ができるのは、日常的に行政の窓口から声がけができるタイミングをもつ保健師等のパイプがかかせないと思う。

（議長）そもそも家庭に第三者がはいることが難しくなってきた。

（委員）町会や民生委員児童委員はご近所であるという反面、それが故に実は知ってほしくない、関わってほしくないと思っている人もいるので、行政で専門職の相談員をつけたほうがいい。貧困の家庭だからというわけではなく、誰しものが相談できる相談員。その相談員が窓口となって、家庭訪問を行う。時として、行政がリーダーシップをとる必要があるのではないか。

子ども食堂にしても提供する場所が町会や民間のお宅だと行きづらい部分があるのかもしれない。そうであれば、まちづくりセンターの集会所を利用するルールをつくる等、行政が行うことで、誰しものが利用できるというアプローチも必要。

(議長) 他区の事例に関わってわかってきたことだが、子どもの貧困を発見するきっかけはケアマネジャーだったりする。介護の問題で家庭に訪問して、家族関係などを聞いたりする中で、実は孫がひきこもっている等色々と発見されてくる。実は、福祉や介護の関係から情報が入ってくることが多いのかなと。子どもの貧困を考えていくときには、行政的には社会教育の範疇を超えてしまうかもしれないけれども、一つの提起として、福祉領域とも連携をとって関わっていかないと、全く関係ない別のかたちで地域の見守りなどを行うと力が分散される。

(委員) 民生委員児童委員もお年寄りの家庭に訪問する機会がある。その時に得た情報で、子どもの関係でなにかあったりすると、すぐまちづくりセンターにつなげたりしている。

(委員) ハードルが低い、間口が広いといった受け止める場所は、子ども食堂や自習スペース等でできた。でもそれだけでは解決せず、一つの手段でしかない。逆に支援が必要だが自ら支援を求めない方には、アウトリーチの働きかけもしなくてはいけない。また、ケアマネジャーのような包括的な支援の体制も充実させていかなければならない。対象も、産まれる前から乳幼児期、小学校期、中学校期、高校以上とそれぞれの段階に対応できる受け止め場所、アウトリーチ、機関、施設が必要になってくる。人材も、もちろんそうだが、今は働きにでてしまう方も多く、自分の子どもが大きくなったら関わらないという状況の中でそういう人たちも確保して、そして町会自治会の人たちにも働きかけて理解してもらって協力しながら体制づくりを行う。このような人材確保がやはり大事。どこでキャッチできるかわからないから、いろんなところに周知ができるようなPRや働きかけもしなくてはいけない。高齢者というところからも突破口があるかもしれない。一つでは解決できず総合的に、継続的に考えていかなければいけない。これは本当に大変。できることから始めて、そこから可能性をひろげて連携システムをつくっていく。エネルギーがいることだがやらないと解決が進まない。

(委員) 粕谷児童館の会にでていると、中高生の居場所づくりとして、在館時間をのばして中高生の活躍の場をつくっている。ぷらっとホーム世田谷や子ども食堂もある。それぞれが充実しているけれども、そこに果たしてどれくらいの子が行っているかという、あまり行っていないというのが現状。実際に必要な情報が伝わらないのが課題。様々な要因で子どもたちが困っている時に、こういう方法があると提示してあげる機関なり人が必要。貧困に関しても、今それぞれの学校が課題を発見して、じゃあどこと連携したほうがいいのかとなったときに、まとめられるようなところが必要と感じている。

(議長) そもそもどういう相談支援の機関や専門職やシステムがあるのかというのを一度洗いざらいだしてみるのが必要かもしれない。それがそもそも見えない。意外と関係していない高齢者の窓口が関係している場合もある。全体像として俯瞰できるようなものが必要かもしれない。

(委員) 今の子どもたちが、情報をキャッチしやすいもの、例えばスマートフォンなどに情報を載せ、見つけられるようにする。子どもたちにも自ら自立に向けて解決できる力を身に付けてほしいというのも事実。将来本人が生きていくために、生きる力というものも必要になってくる。そういったものをつかって、突破口となるような情報を自らつかむチャンスになるようにできないか。

(議長) 自殺志願者の支援活動をしている団体の中では、自殺といれて検索すると、その団体のサイトが上位にでてくるようになっている。そこをクリックすると、自分も苦しんだ何度も自殺しようとした経験をかいてある。そうすると子どもたちも思うことがあってそこでやりとりができる。生きづらさを抱えている子どもが、自ら行きそうなところに有効な情報を載せることは大事。

(委員) 子ども 110 番もあるけれども、電話をかけるのは敷居が高い場合もある。その子が自分から何かができるようにハードルを下げる。そういったことも考えていく。

(議長) インターネットカフェや漫画喫茶にも、そういった支援団体の情報が、ブースになっているところもある。

(委員) なんでもワンタッチですぐ回答しなければいけない、そしてそのつながりをきると不安でいられないという社会構成が影響しているのか。忙しいせいなのか、答えをすぐに求められるせいなのか自分を客観的に見ることができない人が多いと感じる。

(議長) 今日の会議ででた、様々な課題を整理して、次回は活動報告書の柱立てを示して検討できるようにしたい。

3. その他

<事務局より>

- ・第55回親と子のつどいの報告。
- ・第20回アドベンチャーin 多摩川いかだ下り大会について情報提供。

【10】次回の日程について

第7回定例会は平成29年7月頃に開催予定。事務局で日程調整し、改めて連絡する。

－ 以上 －